

2013年12月31日締め2013年第4四半期および通年の業績を発表

第4四半期は、3期連続の業績向上

(このプレスリリースは、2014年2月4日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社:マサチューセッツ州ネイティック、NY証券取引所略号:BSX)は本日(2014年2月4日)、2013年12月31日締めの第4四半期の売上高を18億3,800万ドルと発表しました。前年同期比で、5%の営業収益の伸び(為替変動の影響と売却事業の売上高を除く)およびリポーテッドベースで1%の増収となりました。修正後1株当たり利益(EPS)は0.21ドル(前年同期は0.18ドル)、GAAPベースのEPSは0.08ドル(前年同期は0.04ドル)でした。

ボストン・サイエンティフィック社の社長兼CEOのマイク・マホーニーは、「第4四半期の結果と2013年の通年で営業収益を前年比でプラスに戻せたことに満足しています。これで、3四半期連続で営業収益が伸びており、2014年も引き続き年間売上高および利益が伸びることを期待しています」と述べています。

通年での財務実績

- 年間売上高は71億4,300万ドルを計上し、営業収益としては2%の伸び、リポーテッドベースで1%の減収となった。
- 通年の修正後EPSは0.73ドル(2012年は0.66ドル)、GAAPベースのEPSは1株当たり0.09ドルの損失(2012年は2.89ドルの損失)となった。
- 営業キャッシュフローは10億7,800万ドル。承認済みの自社株買戻しプログラムに基づき、2013年は5,140万株の買戻しを行い、このために5億ドルを支出した。

2013年第4四半期の財務実績および直近の主要項目

- 売上高は18億3,800万ドルを計上し、前年同期比で、営業収益として5%の伸び、リポーテッドベースでは1%の増収となった。
- 修正後EPSは0.21ドル(会社発表の予想レンジは、0.18~0.20ドル)で、GAAPベースのEPSは0.08ドル(会社発表の予想レンジは0.04~0.08ドル)であった。
- 営業キャッシュフローは2億6,800万ドル。また承認済み自社株買戻しプログラムに基づき、約1,900万株の買戻しのために2億2,500万ドルを支出した。
- ニューロモジュレーションは33%の増収となり、2期連続で30%以上の増収を達成。Medsurg部門は12%増収をもたらした(いずれも、前年同期比、為替変動の影響を除く)。
- CRMビジネスを引き続き強化。為替変動の影響を除き、前年同期比3%の増収を達成。
- 新興国市場で前年同期比18%の増収を達成。新興国市場は会社売上の9%に相当(いずれも、為替変動の影響を除く)。
- C.R. Bard社のEP事業部門の買収を完了。

- FDA Advisory Panel (諮問委員会)において、13 票対 1 票の採決により、WATCHMAN 左心耳閉鎖デバイスの有効性がリスクを上回るとの決議がされたことを報告。
- プラチナクロム合金製 Promus PREMIER エベロリムス溶出型冠動脈ステントに対する FDA の承認を取得し、米国において上市した。
- 4 極 CRT-D システムの X4 ラインナップ (AUTOGEN™X4 および ACUITY™X4 4 極リード一式等) が CE マークを取得したことおよび同システムの初の植込みが行われたことを発表した。
- 当社の Lotus™ 大動脈弁システム—経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVR) において的確な位置決めと留置を可能にする—が CE マークを取得した。最初の REPRISE II 臨床試験において、留置後、重篤な大動脈弁逆流は 30 日間見られず良好な結果を得た。

全世界における第 4 四半期の売上高は次の通り

in millions	Three Months Ended December 31,		% Change			
	2013	2012	As Reported Basis	Less: Impact of Foreign Currency		Constant Currency Basis
Interventional Cardiology	\$ 500	\$ 534	(6)%	\$ (17)	(3)%	(3)%
Peripheral Interventions	205	199	3%	(7)	(4)%	7%
Cardiovascular	705	733	(4)%	(24)	(3)%	0%
Cardiac Rhythm Management	468	457	2%	(2)	(1)%	3%
Electrophysiology	50	38	33%	(1)	(2)%	35%
Rhythm Management	518	495	5%	(3)	(1)%	5%
Endoscopy	343	329	4%	(11)	(3)%	8%
Urology/Women's Health	132	130	2%	(4)	(3)%	5%
Neuromodulation	138	104	32%	—	(1)%	33%
MedSurg	613	563	9%	(15)	(3)%	12%
Subtotal Core Businesses	1,836	1,791	3%	(42)	(2)%	5%
Divested Businesses	2	30	(93)%	—	0%	(93)%
Worldwide Net Sales	\$ 1,838	\$ 1,821	1%	\$ (42)	(2)%	3%

Growth rates are based on actual, non-rounded amounts and may not recalculate precisely.

Sales growth rates that exclude the impact of sales from divested businesses and/or changes in foreign currency exchange rates are not prepared in accordance with U.S. GAAP. An explanation of the company's use of these non-GAAP financial measures is included in the exhibits attached to this news release.

GAAP ベースの連結決算での 2013 年第 4 四半期の純利益は、1 億 800 万ドル (1 株当たり 0.08 ドル) でした。この業績は、買収、売却、訴訟および事業再編関連の費用ならびに償却費用の合計 1 億 8,200 万ドル (税引き後、1 株当たり 0.13 ドル) を含みます。これらの費用を含めない 2013 年第 4 四半期の修正後純利益は 2 億 9,000 万ドル (1 株当たり 0.21 ドル) でした。

GAAP ベースの連結決算での 2012 年第 4 四半期の純利益は 6,000 万ドル(1 株当たり 0.04 ドル)でした。この業績は、売却関連の正味費用、買収、訴訟および事業再編関連の費用ならびに償却費用の 1 億 9,200 万ドル(税引き後、1 株当たり 0.14 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2012 年第 4 四半期の修正後純利益は 2 億 5200 万ドル(1 株当たり 0.18 ドル)でした。

2013 年通年の全世界における売上高

in millions	Twelve Months December 31,		% Change			
	2013	2012	As Reported Basis	Less: Impact of Foreign Currency		Constant Currency Basis
Interventional Cardiology	\$ 1,997	\$ 2,179	(8)%	\$ (58)	(3)%	(6)%
Peripheral Interventions	789	774	2%	(28)	(4)%	6%
Cardiovascular	2,786	2,953	(6)%	(86)	(3)%	(3)%
Cardiac Rhythm Management	1,886	1,908	(1)%	(14)	(1)%	0%
Electrophysiology	155	147	5%	(2)	(1)%	7%
Rhythm Management	2,041	2,055	(1)%	(16)	(1)%	0%
Endoscopy	1,300	1,252	4%	(41)	(3)%	7%
Urology/Women's Health	505	500	1%	(12)	(2)%	3%
Neuromodulation	453	367	23%	(1)	0%	24%
MedSurg	2,258	2,119	7%	(54)	(3)%	9%
Subtotal Core Businesses	7,085	7,127	(1)%	(156)	(2)%	2%
Divested Businesses	58	122	(52)%	—	(1)%	(52)%
Worldwide Net Sales	\$ 7,143	\$ 7,249	(1)%	\$ (156)	(2)%	1%

Growth rates are based on actual, non-rounded amounts and may not recalculate precisely.

Sales growth rates that exclude the impact of sales from divested businesses and/or changes in foreign currency exchange rates are not prepared in accordance with U.S. GAAP. An explanation of the company's use of these non-GAAP financial measures is included in the exhibits attached to this news release.

GAAP ベースの連結決算で、2013 年通算の純損失は 1 億 2,100 万ドル(1 株当たり 0.09 ドル)でした。この業績は、営業権などの無形資産の減損費用、買収、事業売却、組織再編、訴訟関連の費用、税制上の優遇措置ならびに償却および債務の償還の費用の合計 11 億 1,200 万ドル(税引き後、1 株当たり 0.82 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2013 年通年の修正後純利益は 9 億 9,100 万ドル(1 株当たり 0.73 ドル)でした。

GAAP ベースの連結決算で 2012 年通年の純損失は 40 億 6,800 万ドル(1 株当たり 2.89 ドル)でした。この業績は、営業権などの無形資産の減損費用、買収・事業売却関連の正味費用、組織再編・訴訟関連の費用、税制上の優遇措置および償却費用の 50 億 100 万ドル(税引き後、1 株当たり 3.55 ドル)を含みます。これらの費用を含めない 2012 年通年の修正後純利益は 9 億 3,300 万ドル(1 株当たり 0.66 ドル)でした。

2014 年通年および第 1 四半期の予測

ボストン・サイエンティフィック社は、2014 年通年の売上高を 73 億ドルから 75 億ドルの範囲内だと予想しています。これは、レポーテッドベースで 2~5 パーセントの伸び、営業収益ベースでは 3~5 パーセントの伸びとなります。また、GAAP ベースの 1 株当たりの利益は 0.34ドルから0.40ドルの間になる見込みです。買収、事業売却および組織再編関連の正味費用および償却費用を含めない修正後利益は、1 株当たり 0.75ドルから 0.80ドルの範囲内と予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2014 年第 1 四半期の売上高を 17 億 5,500 万ドルから 18 億 500 万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAP ベースの 1 株当たりの利益は 0.05ドルから 0.09ドルの間になる見込みです。事業売却関連の正味費用、買収・組織再編関連の費用および償却費用を含めない修正後利益は、1 株当たり 0.16ドルから 0.18ドルの範囲内と予想しています。

電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(2/4)午前 8 時 00 分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子をウェブサイトの IR のセクション www.bostonscientific.com で配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議の様子は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約 1 年間配信する予定です。

将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第 27A 条および証券取引法(1934年制定)第 21E 条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、純売上高、GAAP および営業収入率、2014 年度第 1 四半期および通年の修正後利益・GAAP ベースの業績、財務成績、事業計画、私たちの収益成長率の位置づけなどに関する記述なども含まれます。基本的な前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意してください。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、金融市場、組織再編プログラムの実施とその効果、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新たなリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の 10-K 年次報告書パート I 1A 項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の 10-Q 四半期報告書パート II 1A 項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィック社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するように将来予測に関する記述の内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP(一般会計原則)の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに付属の別紙をご覧ください。

連絡先:

デニス・カイグラー
508-650-8330(社内)
media@bsci.com
メディア向け情報担当

スーザン・リサ、CRA
508-652-5345(社内)
investor_relation@bsci.com
投資家向け情報担当

<ボストン・サイエンティフィックについて>

ボストン・サイエンティフィックは、世界中の患者さんの健康状態を改善するために、革新的な治療法を提供し、患者さんの人生をより多いものとすることに全力で取り組んでいます。過去 30 年以上にわたり世界の医療テクノロジーをリードし続けるグローバル企業として、「we advance science for life」の言葉を胸に、画期的な治療法を通じて様々な疾患に苦しむ患者さんや、医療体制の生産性向上にも貢献しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレート・コミュニケーションズ)

TEL : 03-6853-6940, FAX : 03-6853-6950

E-mail でのお問合せはこちらへ (pressroom@bsjkk.co.jp)

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社